ニセコ町観光振興ビジョン　中間点検　施策と目標の関係性

【基本戦略】　【施策の方向性】※赤字：宿泊税活用事業　【数値目標】

基本戦略1

観光産業の安定的な経済活動と地域貢献

1-1 季節変動の平準化と雇用の安定（従業員の所得向上・福利厚生の充実）

- **夏の誘客に向けた取組**（ベジピク、アンヌプリ周遊スタンプラリー）
- **MICE強化に向けた取組**・教育旅行、修学旅行対応の強化
- 特定地域づくり事業協同組合制度の検討、創設
- 潜在的労働力の掘り起こし（スキマバイト）
- 人財確保モデル事業による職員採用・職場定着支援

1-2 観光事業における域内調達率（材料・雇用等）の向上

- e旅納税（旅行者現地決済型ふるさと納税）の推進
- 町内事業者連携を要件とした補助制度の継続
- 潜在的労働力の掘り起こし（スキマバイト）

1-3 観光事業者の地域コミュニティへの貢献（カーボンオフセット等）

- e旅納税（収入の一部は地域コミュニティに還元）の推進
- 民間有志による寄付付き商品の開発・販売（NIS-ECOプロジェクト）
- **観光事業者の省エネ改修等への支援（脱炭素・再エネ推進補助金など）**

→ **観光消費額**の向上

→ **延べ宿泊者数**の増加

基本戦略2

観光客の多様な価値観への対応と受入環境の整備

2-1 観光客への特別な観光体験（宿泊・食・アクティビティ等）の提供

- 着地型旅行商品の開発・強化
- スカイバスニセコ・**アンヌプリシャトルの運行**（倶知安・ニセコ両観光協会）
- **夏の誘客に向けた取組**（ベジピク、アンヌプリ周遊スタンプラリー）

2-2 観光客・町民の地域資源（自然・文化・歴史）への理解促進

- 町民向け割引・特典情報の発信　・カレーライス物価の発信
- ニセコ高校と連携した取り組み（ラベンダープロジェクト、SDGs旅行商品の開発、双子のさくらんぼの木後継樹プロジェクト）
- Green DestinationsやUN Tourism Best Tourism Villages、などの周知・PR

2-3 安全で快適に観光できる受入環境の整備

- スカイバス、**周遊バスの運行**　・**カーシェア実証導入**（通年）
- バスロケーションシステムの導入　・**バス車内Wi-Fi導入**
- **バス路線におけるキャッシュレス決済の導入**
- **冬期タクシー不足対策**　・**アンヌプリ-モイワ間冬季除雪**
- デジタルマップの活用（グルメマップ、スタンプラリー）
- AIカメラによる混雑状況可視化（綺羅乃湯）

→ **観光消費額**の向上

→ **観光客満足度**アップ

→ **新規来訪者、リピーターの増加**

基本戦略3

観光によって町民生活の質を高める

3-1 観光客の環境配慮型行動の喚起

- **ニセコルールの周知徹底**
- ドギーバック（食べ残し食品持ち帰り）の導入
- Green DestinationsやUN Tourism Best Tourism Villages、などの周知・PR

3-2 地域の魅力や観光の取組の情報発信（インナーブランディング含む）

- **「ニセコ価格」対策への取組**
- ニセコ高校と連携した取り組み
- 子ども向け体験機会の提供（星空ツアー招待、ホテル見学、植樹など）
- 地域貢献事業者・商品の積極的活用
- 地域おこし協力隊による情報発信（note、SNSなど）
- 町民向け割引・特典情報の発信
- ゲーム「Ghost of Yotei」との連携（コラボ商品開発、PRなど）

3-3 観光関連の起業を増やし、自然・文化の継承に寄与

- 起業支援補助の拡充、要件の一部緩和
- 町内事業者連携を要件とした補助制度の継続
- 地域おこし協力隊の受入と活用

→ **観光での環境負荷減**

→ **住民満足度**の増加